

筑豊小児科医会会報

Vol.220 2025.5



Contents

- ◇ 小児センタースタッフ（医師）のご紹介
- ◇ 筑豊小児科医会入会挨拶
- ◇ 新任医師のお知らせ
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2025年2月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

小児センタースタッフ（医師）のご紹介 2025 年 5 月 1 日現在

新年度となり、新しいスタッフが加わりましたので改めてご紹介いたします。

小児科

岡松 由記 小児科 部長 出身 福岡大学（2000 年卒） 専門 アレルギー 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本アレルギー学会 アレルギー専門医 ・日本小児科学会小児科指導医	神田 洋 小児科 診療部長 総合周産期母子医療センター長 出身 久留米大学（1996 年卒） 専門 新生児 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本小児科学会小児科指導医 ・九州新生児研究会評議員 ・新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	大矢 崇志 小児科 診療部長 出身 大分医科大学（1998 年卒） 専門 小児神経 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本小児科学会小児科指導医
坂口 万里江 小児科 特任診療部長 出身 山口大学（1990 年卒） 専門 アレルギー 資格・日本小児科学会小児科専門医	田中 ゆかり 小児科 医師 出身 久留米大学（2009 年卒） 専門 内分泌、発達・発育、育児相談 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・出生前コンサルト小児科医	嘉村 拓朗 小児科 医長 出身 徳島大学（2014 年卒） 専門 アレルギー 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本小児科学会小児科指導医 ・日本小児感染症学会小児感染症認定医 ・VHJ 臨床研修指導医
大武 瑞樹 小児科 医長代理 出身 佐賀大学（2018 年卒） 専門 新生児 資格 日本小児科学会小児科専門医	笹栗 誠 小児科 医長代理 出身 久留米大学（2020 年卒） 専門 小児一般 資格 JATEC プロバイダー	吉田 浩一 小児科 専攻医 出身 川崎医科大学（2015 年卒） 専門 小児一般 資格・日本内科学会認定内科医 ・日本循環器学会循環器専門医
末継 智士 小児科 専攻医 出身 熊本大学（2021 年卒） 専門 小児一般	莫根 良太 小児科 専攻医 出身 愛媛大学（2021 年卒） 専門 小児一般	安元 和博 小児科 専攻医 出身 久留米大学（2022 年卒） 専門 小児一般
田中 祥一朗 こども政策顧問 出身 久留米大学（2004 年卒） 専門 地域デザイン、こども・若者支援 資格・日本小児科学会小児科専門医・日本周産期 新生児医学会 周産期（新生児）専門医・日本アレルギー学会 アレルギー専門医 ・日本抗加齢医学会専門医・日本小児科学会小児科指導医・公認心理師・出生前コンサルト小児科医		

小児外科

近藤 琢也 小児外科 部長 出身 九州大学（2010 年卒） 専門 小児外科一般、新生児外科 資格・日本小児外科学会専門医 ・日本外科学会専門医・日本周産期・新生児医学会認定外科医・日本臨床栄養学会認定臨床栄養医 ・JATEC プロバイダー・新生児蘇生法「専門」コース修了
--

筑豊小児科医会入会挨拶

●嘉麻赤十字病院 院長 ^{はたえ}波多江 ^{けん}健 先生

令和6年10月に嘉麻赤十字病院院長を拝命いたしました波多江 健と申します。小児科専門医・指導医、腎臓専門医で小児の腎疾患を中心に診療してきました。

まずは病院のことを。

嘉麻赤十字病院は旧山田市にある開設85年を超える歴史ある病院です。多くの診療科をもち地域医療に貢献してきました。小児科は5年前からは三井敬一先生が診療を行っています。小児科外来は日祝日・年末年始を除く毎日。土曜日も午前中は診療しています。ワクチン接種もOKです。採血、超音波検査、レントゲン、CT、MRIなど速やかに対応できますのでご利用ください。小児の入院も今後始めたいと考えています。2025年4月からは私の専門である小児の腎臓外来を水曜午後に始めます。予約制としますので初診の際もご連絡いただけると幸いです。ほかの曜日も連絡は取れると思いますのでご相談ください。早朝尿を持参されると診断がスムーズです。

営業はこれくらいにして、自己紹介です。

昭和59年九州大学卒で、九州大学小児科に入局しました。唐津赤十字病院、東国東広域国保総合病院（現国東市民病院）で地域医療を経験し、研究は九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門でHLAの研究を行いました。専門は腎臓で九州大学病院と福岡市立こども病院で診療にあたり、腎炎・ネフローゼの診断治療、さらに溶血性尿毒症症候群など急性腎不全の対応、CAPD、血液透析、腎移植とさまざまな患者さんを診療させていただきました。2004年に福岡赤十字病院に異動となり、それから一般小児の診療にも携わりました。ここ数年は社会問題となっている虐待に円滑に対応できるよう、院内こども虐待対応チームの組織づくりを行ってきました。

趣味は、山登りとマラソンです。学生時代は毎年夏に北アルプスに出かけていました。医者になっても研修医の時までは登りましたが、山奥では患者さんの急変時にすぐに戻れないので専門開始とともに断念しました。50歳になったころ、後輩から誘われて走り始め、これまでフルマラソン33本完走しました。これからもマラソンには挑戦したいと思っています。

初めての筑豊勤務で、寒さと雪の多さに驚かされています。院長職は、いろいろわからないことばかりです。こども医療を含めた地域医療を守るために頑張りたいと思います。これからいろいろお世話になると思います。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

●坂本医院 ^{くわはら}桑原 ^{こうすけ}宏輔 先生

このたび、筑豊小児科医会に入会させて頂きました坂本医院の桑原宏輔と申します。

飯塚病院、潁田病院で初期研修・専攻医研修をさせて頂き、小児科診療の基礎を学ばせて頂きました。2023年4月より実家である坂本医院に戻り、外来、乳幼児健診、予防接種、急患センター等、小児診療に携わせて頂いております。

子供から大人まで、地域のニーズに応え、地元筑豊の医療に貢献できるよう努力いたします。先生方に於かれましては今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



新任医師のお知らせ

●田川市立病院 小児科 部長 藤吉 順子^{ふじよし じゅんこ}

4月より田川市立病院で勤務させていただくことになりました藤吉順子と申します。

医師 23 年目になります。専門は新生児と臨床遺伝です。昨年度までは九州医療センターで勤務していました。筑豊地域の小児科医療に貢献できるよう日々努力致します。地域の子供たちとそのご家族が安心して過ごせるよう力になりたいです。皆様のお力をお借りすることもあるとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

●田川市立病院 小児科 医員 石倉 稔也^{いしくら としや}

2025 年 4 月より田川市立病院に赴任しました石倉稔也と申します。

医師 8 年目で小児アレルギーが専門です。微力ながら田川地区の小児医療に貢献できるよう精一杯努力させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

●飯塚病院 小児外科 部長 近藤 琢也^{こんどう たくや}

この度、飯塚病院小児外科で勤務いたします、近藤琢也です。

異動前まで九州大学小児外科で勤務しておりました。筑豊地区は個人的にゆかりのある土地で、この地域の小児医療に貢献できることをうれしく思います。子どもたちの健康のために小児外科医として頑張りたいと思います。専門分野は新生児外科ではありますが、小児外科全般の手術に対応いたします。また、小児の腹部症状全般を含めた様々な症状もしっかりと診察・検査させていただきますので、まずはご相談ください。至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。

●飯塚病院 小児科 医長代理 大武 瑞樹^{おおたけ みずき}

4月より飯塚病院小児科(総合新生児)でお世話になります、大武瑞樹と申します。日々赤ちゃんのパワーとふわふわとした笑顔に活力をもらいながら仕事をしています。赤ちゃんのご家族にとって安心できる環境作りができるよう尽力いたします。お困りのことがありましたらいつでもご相談ください。

●飯塚病院 小児科 専攻医 末継 智士^{すえつぐ さとし}

2025 年 4 月より飯塚病院小児科で勤務させて頂くことになりました、末継智士と申します。

医師 5 年目、小児科 3 年目で、昨年度まで久留米市の聖マリア病院に勤務しておりました。飯塚に暮らすのは初めてで不慣れな点が多々あると思いますが、地域の子供たちの健康に貢献したいと考えておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

●飯塚病院 小児科 専攻医 莫根 良太^{あぐね りょうた}

2025 年 4 月より飯塚病院小児科で勤務させていただくこととなりました、莫根良太と申します。

昨年は北九州市立八幡病院で勤務しておりました。今年度は筑豊地区の子どもたちのために精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

●飯塚病院 小児科 専攻医 ^{やすもと}安元 ^{かずひろ}和博

2025 年 4 月より飯塚病院小児科で勤務させて頂くことになりました、安元和博と申します。

昨年は久留米大学病院小児科で 1 年間病棟を中心に診療に携わりました。筑豊地区の小児科診療に少しでも貢献できるよう、子供達と共に成長して参ります。1 年間、よろしくお願いします。

研修医のご紹介

●東京化学大学病院 総合診療プログラム 専攻医 4 年目 ^{くろき}黒木 ^{たいら}平

飯塚・穎田総合診療専門研修プログラム所属の黒木 平と申します。4 月から 3 ヶ月間飯塚病院小児科にて研修させていただきます。3 月までは内科プログラムを専攻しており、小児に関しては勉強不足の点が多いですが、患者さんや患者さんのご家族に満足いただけるような医療を提供できるよう精進いたします。よろしくお願いいたします。

●総合診療科 専攻医 1 年目 ^{はやし}林 ^{まさふみ}雅文

飯塚・穎田総合診療専門研修プログラム所属の林 雅文と申します。4 月から 3 ヶ月間飯塚病院小児科で研修をさせていただきます。今後は家庭医・総合診療医として、小児医療に携わっていきたいと考えております。精一杯勉強させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●初期研修医 1 年目 ^{にしむら}西村 ^{としのり}俊慶

初期研修 1 年目の西村俊慶と申します。宮崎県出身で、岡山大学を卒業しました。小児科では、成人診療との違いを意識しながら、多くのことを学ばせていただきたいと考えております。良い診療の第一歩は、患者さんとそのご家族との信頼関係を築くことだと思っておりますので、丁寧なコミュニケーションを心がけながら診療にあたってまいります。至らぬ点も多々あるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

●初期研修医 1 年目 ^{みぎた}右田 ^{なみ}奈巳

初期研修医 1 年目の右田奈巳と申します。金沢医科大学出身ですが、地元は北九州です。

このたび初期研修で地元である福岡県に戻ってくることができ大変嬉しく思っております。四月に入職したばかりでまだ分からないことばかりですが、地元の医療に貢献できるよう精進して参ります。小児科のローテーションでは、子供は「小さな大人」ではないことを理解し、小児特有の身体診察やバイタル評価、小児に common な疾患とその鑑別が行えるように学びを深めていきたいです。さらに患者さんやそのご家族に信頼していただけるような医師となれるよう努めて参ります。4 週間という短いローテーション期間ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

小児科関連勉強会のご案内

小児科関連勉強会のご案内

■ 第 52 回筑豊周産期懇話会（第 367 回筑豊小児科医会勉強会）

●日 時：2025 年 5 月 28 日（水）19:00～20:30

●会 場：飯塚病院 エネルギー棟 6 階 大会議室

* 詳細は案内状をご確認ください

■ 第 368 回筑豊小児科医会勉強会

●日 程：2025 年 6 月 18 日（水）19:00～20:00

●会 場：飯塚病院 教育研修棟 4 階 424 セミナー室

■ 第 369 回筑豊小児科医会勉強会

●日 程：2025 年 7 月 17 日（木）18:30～19:30

●会 場：飯塚病院 北棟 4 階 多目的ホール

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2025 年 2 月》

●入院患者数 113人 ●外来患者数 939人 ●救命救急センター受診者数 51人

●新生児センター入院患者数 13人 ●分娩件数 30件 ●手術件数 3件

●主要疾患数（退院患者数：90人）

痙攣及びてんかん	13	低出生体重児	7	肺炎・気管支炎	6
急性胃腸炎	4	急性上気道感染症	3	高ビリルビン血症及び黄疸	3
喘息	2	新生児呼吸障害・心血管障害	1	その他	51

●紹介件数（五十音順）

小児科：108 件	
弥永内科小児科医院	9
松尾ファミリークリニック	7
いいづかこども診療所	5
穎田病院	
嘉麻赤十字病院	
雪竹医院	
飯塚市立病院	4
こどもクリニックもりた	
津川診療所	
他 2 件	

小児外科：10 件	
平野医院	2
あらき小児科医院	1
有松産婦人科ユースクリニック	
飯塚市役所 こども未来部 こども家庭課	
尾上小児科医院	
たなかのぶお小児科	
柳瀬外科医院	
雪竹医院	
吉國医院	

新年度が始まり、1か月が過ぎました。緊張した生活を送っていた子どもたちも、徐々に環境に慣れてきた頃かもしれません。そんな5月は、子どもたち（大人にとっても）心と身体に変化が現れやすい時期です。この時期、虐待を受けたり、トラウマ体験を重ねたりしてストレス耐性（レジリエンス）が低くなっている子どもたちは、さまざまなサインを出してくれます。今回はその中でも、“3F”と呼ばれる代表的なサインをご紹介します。

① **1つ目のF : Fight（闘争）**

些細なこと（たとえば注意やネガティブな声かけ）がきっかけで、過剰に反応し、外に向かって暴れたり、暴力をふるったり、暴言を吐いたりします。“キレル”と言い換えてもよいかもしれません。

② **2つ目のF : Flight（逃走）**

同様のきっかけに対する反応として、その場から逃げ出すことです。小学校や中学校で、かんしゃくやパニックを起こし、学校から脱走してしまう子どもたちがいます。

③ **3つ目のF : Freeze（フリーズ、不動）**

Freezeは、強いストレスを受けた際に身体も心も動けなくなってしまう反応です。不登校や引きこもりの状態として現れることもあります。FightやFlightにはエネルギーの発散が見られますが、Freezeはエネルギーが低下している状態であり、より深刻なサインと言えるかもしれません。

これらのサインは、子どもたちにとっては大切な「SOS」ですが、大人から見ると困った行動、問題行動として受け止められてしまいます。そして、そうした行動は叱られ、指導の対象となり、子どもたちはさらに傷ついてしまうのです。問題行動を見かけたその時こそ、関わりを深める絶好の機会です。子どもたちのストレスやトラウマに思いを馳せ、まずはその声に耳を傾けたいものです。5月5日は「こどもの日」。5月は、すべての子どもが健やかに育つことを願う月でもあります。私たち大人が「気づき、声をかけ、つなぐ」ことで、その子の未来を変える一歩につながるかもしれません。気になる子どもがいたら、どうか一人で抱え込まず、チームで共有してください。それが、子どもを守る第一歩です。**AI-CAP（小児虐待防止委員会）**がお手伝いします。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

新年度、明けましておめでとうございます。暖かい日が増えてきたなぁとぼんやりしていたら、いつの間にか新年度になり、先月号の連載をお休みしてしまって、はや 5 月！…な僕は置いておいて、新たなチャレンジを始める方、責任が増える方、引き続き自分の役割を全うする方、皆さん、身体には十分気をつけて頑張っていきましょう。春の訪れとともに、新しいスタートを切る人も多いこの季節。何か新しいことを始めようと思えるだけでも、心が少し軽くなりますね。

さて、私たちの人生における大きな目標の一つは、『自立』することでしょう。発達外来の現場でも、親御さん、療育のスタッフ、学校の先生たちが一丸となって、子どもたちが自立できるよう、日々努力している姿に接します。自分のことは自分でできるようになってほしい — 親御さんを含む大人たち皆が願う、自然な思いです。食事や着替え、トイレトレーニングといった身の回りのことから始まり、学校の準備、勉強の計画、そして進学や就職まで。自立への道のりは長く、ハードルも数えきれません。その過程で、すべてを器用に飛び越えられる子もいれば、つまづいてしまう子もいます。時には転んでしまって、立ち上がるのに時間がかかる子もいますよね。子どもたちの個性やペースは様々です。私たち大人は、何を目的とし、どこまで支え、どこまで期待し、どこから任せるようにしたらよいのでしょうか。

『自立』の定義は様々ですが、私は「必要な時に人に頼ることができ、だからといって相手に従属するのではなく、対等な人間関係を持つことができること」だと考えます。子どもたちにはつい、一人でできるようになることを求めてしまいがちですが、困った時に頼れる人を的確に選び、相談するスキルを教えることも大事なのではないのでしょうか。そのためには、子どもたちが頼ってくれた時に、おざなりな対応をしないことが大切です。新入社員の皆さん、相談するのは「困った時」ではなく、「相談するか迷った時」です。じゃんじゃん相談して、自立しちゃいましょう。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

